



# 東南おきたま つや姫だより

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 置賜地域本部 置賜農業技術普及課

## 穂肥は遅れず・生育診断に応じた“食味重視”の穂肥を！

つや姫の生育は、指標値に比べ、草丈は「やや長い」、茎数は「多い」、葉数は「やや多い」、葉色は「濃い」状況です。

出穂期は3日程度早まる見込みです。穂肥は遅れず、生育診断に基づく、“食味重視”の穂肥対応を行いましょう。特に、生育量に応じた中干し、穂肥対応を行い、登熟力が強く気象変動に強い「つや姫」づくりに努めましよう。

### 1 生育状況（置賜農業技術普及課生育診断圃）

( )内は指標値比・差

6月28日現在		草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
つや姫	川西町	49.4 (103)	738 (148)	9.8 (+0.5)	42.9 (+2.9)
	指標	48.0	500	9.3	40.0

### 2 直ちに中干し・作溝を行いましょう！

中干しは、田面に小ヒビが入る程度を基本とします。生育量が大きい場合や葉色が濃い場合は強めの中干し、生育量が小さい場合や葉色が低下している場合は弱めの中干しとします。

中干し直後は、作溝に水がたまる程度とし、その後徐々に間断かん水を行います。

**中干しの効果：無効分げつの抑制、根の健全化、受光体勢の良化⇒登熟向上**

**作溝の効果：間断かんがいの効率化⇒根の活力維持、地耐力の向上**

**作溝は、高温時の水管理“飽水管理”にも有効**

### 3 食味重視の穂肥で全量出荷基準（玄米タンパク値基準）達成！

#### ○ 10葉期の生育診断《裏面図を参照》

##### ① 適正域

【m<sup>2</sup>あたり茎数が 600 本/m<sup>2</sup>以下、葉色が 39 以下の場合】

→ 出穂 30 日前に **窒素成分 1.5 kg/10a**

##### ② 生育やや過剰・葉色やや濃い

【m<sup>2</sup>あたり茎数が 600～650 本/m<sup>2</sup>、または葉色が 39～41 の場合】

→ 出穂 30 日前に **窒素成分で 1.0 kg/10a 以下**

##### ③ 生育過剰・葉色濃い

【m<sup>2</sup>あたり茎数が 650 本/m<sup>2</sup>以上、または葉色が 41 以上の場合】

→ 出穂 25 日前頃まで葉色が低下したら、窒素成分で 1.0 kg/10a 施用  
**葉色が低下しない場合は追肥を行わない。**

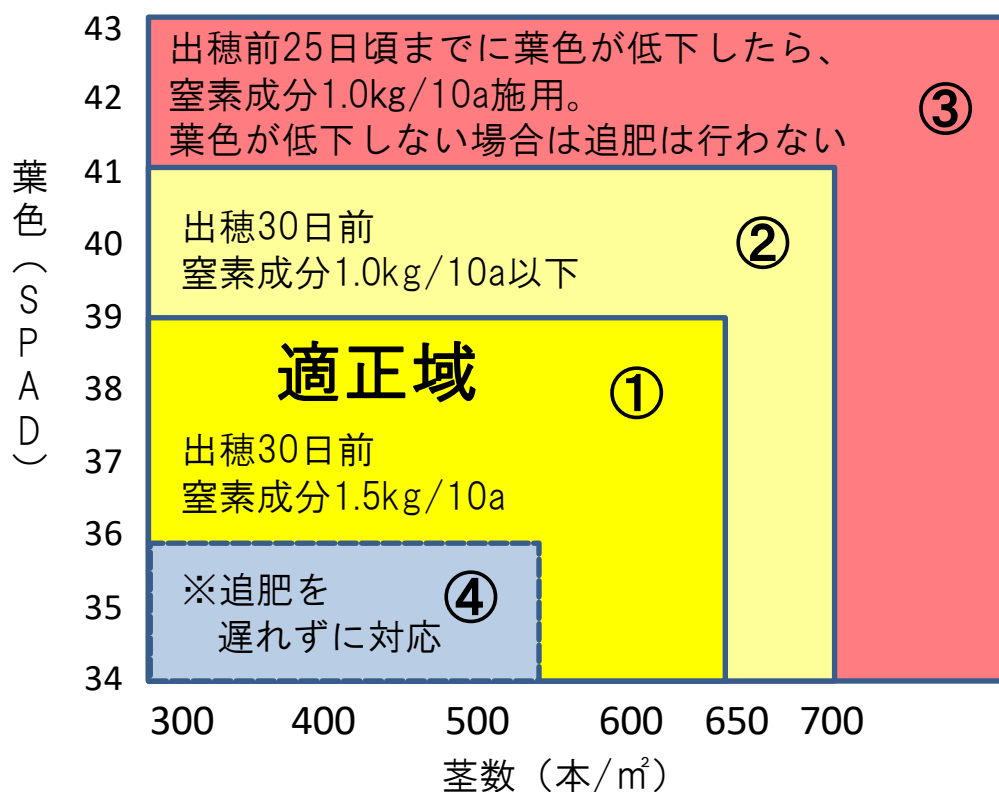
##### ④ 生育量小さい・葉色薄い

【m<sup>2</sup>あたり茎数が 500 本/m<sup>2</sup>以下、かつ葉色が 36 以下の場合】

→ 出穂 30 日前まで、**窒素成分で 1.5 kg/10a 以下**

※追肥量を多くすると  
消化しきれずにタンパクが高まる！

## 【10葉期の生育診断】



### 今年の出穂予想：8/6頃→追肥時期の目安7/7頃

追肥時期が遅れると、玄米粗タンパク含有率が高まり、食味が低下する恐れあり。生育診断に基づき、遅れず追肥を実施しましょう！

## 4 いもち病・斑点米カメムシ類の対策は万全に！

○いもち病の感染に好適な気象条件が出現しており、葉いもちの蔓延に注意が必要です。

圃場をよく見回り、**早期発見、早期防除**を徹底しましょう。

○イネ科雑草が繁茂している**畦畔・農道等の草刈り**を地域ぐるみで徹底し、カメムシ類の生息密度低減に努めましょう。また、水田内のノビエやイヌホタルイなどの雑草は斑点米カメムシ類の水田侵入・増殖を促します。**水田内の残草処理**を徹底しましょう。（※除草剤の使用の際は使用基準を遵守）

### 斑点米カメムシ類注意報発表

発生「多い」！

今すぐ草刈りを行い、斑点米カメムシ類の密度を減らしましょう！



アカヒゲホソミドリ  
カスミカメ



アカスジカスミカメ

## 農作業事故・熱中症に注意！

◎「もうちょっと…」という無理が重大事故につながります。

◎暑い日が続きます。熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょう！

山形県農薬危害防止運動実施中！～農薬を使用する際は使用基準を再確認！その都度記帳！～